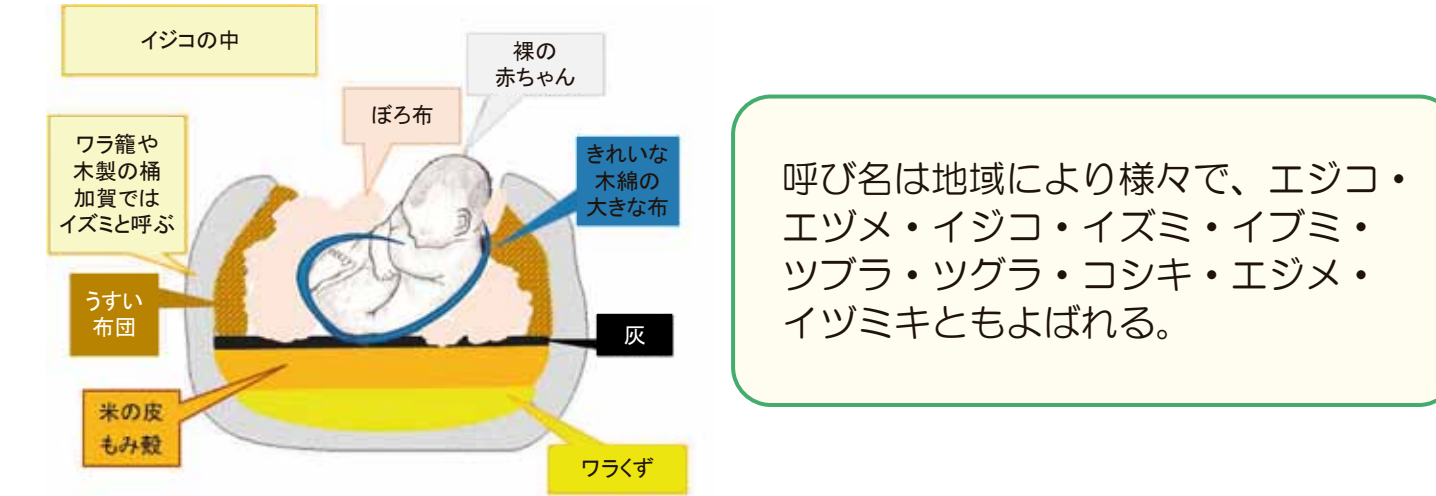


## 商品開発のきっかけ、“まるまるねんね”の原型は「イジコ（嬰兒籠）」でした。

1. イジコは、日本では70年ほど前まで全国のほとんどで使用されていました。（暑い沖縄などではハンモック）。
2. その理由は、丸まっている新生児の背中を無理に伸ばさずに育てれば、農作業ができる丈夫な体の子どもに育つからだと言承されています。
3. 赤ん坊が機嫌よく静かにいてくれるので、農作業時なども近くに据え置くための道具として重宝されていました。
4. 赤ん坊が機嫌よく過ごし、丈夫な重労働に耐える子どもとなるためには、この寝かせ方が大切であると考えました。



呼び名は地域により様々で、エジコ・エツメ・イジコ・イズミ・イブミ・ツブラ・ツグラ・コシキ・エジメ・イツミキともよばれる。



岩手県立博物館に展示



国立民族学博物館に展示（大阪）



秋田では最近まで「嫁入り道具」だった

### <イジコの利点>

- イジコの中だと、新生児の姿勢を良好な胎児の姿勢と同様に保てる。つまり、脊柱は後湾、四肢は屈曲。
- コックリコックリしながら寝るので、頸部～背部の伸展筋群が強化され、定頸が早く、向きくせもできないため丸い頭に育つ。
- 保温性と通気性に優れているため、四季を通じて使用できる。
- 昔は裸のまま入れ灰袋を股間に当てがっていたので、排便があれば灰袋を替えていた。灰汁はオムツかぶれを防ぐ。

### <イジコの欠点>

- 中のものを取り替えるといっても不潔である。
- 庶民でも赤ちゃんの布団や服、おしめなどを買える経済状況となるにつれ、清潔な育児が好まれるようになった。
- 昔のイジコは竹かごや板などで作れる人が多かったが、現代では同じものを作ると高価になる。

そこで、イジコでの良い部分を反映できる現代のイジコを開発。

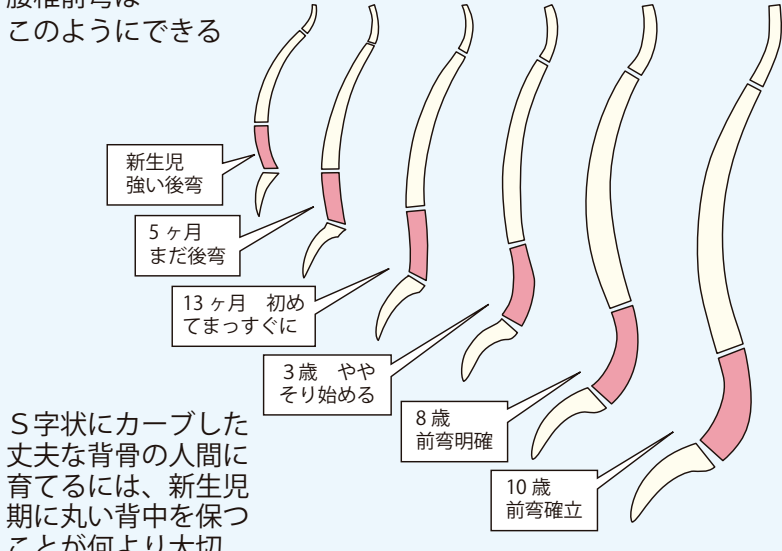
### <反映させるべき良い点>

丈夫な背骨を作る最大のポイントは、

**新生児期に背骨を伸ばさない** こと。

### 脊柱の解剖学的発達

腰椎前弯はこのようにできる



S字状にカーブした丈夫な背骨の人間に育てるには、新生児期に丸い背中を保つことが何より大切

第51回 日本母性衛生学会総会・学術集会  
ランチョンセミナー  
「骨盤ケアで改善!PART5」P13に掲載

この図は「カパンディ関節の生理学Ⅲ 体幹・頭部」原著第6版  
A. I. Kapandji 著 塩田悦仁 訳 医師薬出版 を参考にリライトしたものです。

脊柱のS字状湾曲が形成されるのは10歳頃である。新生児を大人と同様に硬い布団に仰臥位で寝かせると、突出した後頭結節のために顔を左右どちらかに向けるため、向きくせが生じやすく、頭の変形のみならず、股関節の開排制限、脊柱側弯を誘発する恐れがあると考えられます。また、脊柱の湾曲形成を阻害する恐れがあるとも考えられています。

青葉では平成15年度より、現代版のイジコとして、トコちゃんの「すやすや籠」（廃盤）をはじめ商品を発売しております。

現在では、

丸くしても丸まれない状態の赤ちゃんが近年増えてきたことで、生まれてすぐ使える産院用「**院内専用 天使の寝床**」を発売。



使用例

↓母子同室で



院内専用 天使の寝床

一般家庭で、丸くなりにくい赤ちゃんを丸められる状況をつくれるように、弊社の「おひなまき」とシーツを兼ねた「おひなシーツ」と、反り返っても布団から落ちないように、布製コットと、丸く寝かせることでも、呼吸を妨げないためのベビー枕「マイピーロネオ」などを一式にした商品「**天使の寝床**」を発売。



「天使の寝床」一般家庭向け

ミントグリーン・ピンク



さらに、通気性バツグンの商品「**ハグモック**」に加え、「**天使の寝床**」

同様に置き場所を選ばない

「**ネオモック**」が、平成24年1月より発売開始となりました。

「**ネオモック**」＋「**ネオモック・専用フレーム**」に、反り返ってもモックから落ちないように、「**おひなまきS**」に、丸く寝かせることでも、呼吸を妨げないためのベビー枕「**マイピーロネオ**」がセットとなっています。

「**ネオモック**」は、モックに、赤ちゃんの重みで安定する商品です。

大人の感覚としては、ハンモックに寝る感覚とお考えください。

**まるまるねんね**は、お母さんの子宮を再現する状態をつくります。

出来る限りその状態を覚えている新生児のうちに使いはじめることをおすすめします。



### <参考資料>

○第51回日本母性衛生学会総会・学術集会 ランチョンセミナー「骨盤ケアで改善!PART5」(2010.11.5)  
野澤昌子,妊娠中からの身体作りでハイリスク妊娠の予防を目指す地域活動の実例  
竹内華子,「笑顔で楽チン子育て」を支援する発達教室

○第34回日本母体胎児医学会学術集会 ランチョンセミナー「骨盤ケアで改善!PART7」(2011.8.27)  
栗原芳美,当院における新生児ケアのご紹介